

## 第2章

### 次代につなぐ教育と生涯学習のまちづくり

---

第1節 学校教育……………70

第2節 生涯学習……………73

現状と課題

- 子どもの豊かな人間性や社会性を育み、健全な心身や生きる力を養うためには、小中学校における生活が重要です。
- 本町では、5つの小学校と2つの中学校で義務教育を充実してきました。本町の児童生徒数は減少を続けており、今後もその傾向が続くと予想されます。
- 教育内容の質を高めるためには、教職員の能力向上とともに教育内容を充実することが課題です。また、国際理解教育や情報化への対応、環境教育などの推進とともに、特別支援教育\*や外国人児童生徒への対応が課題です。
- 小学校では国際理解教育の時間数が増えましたが、中学校における教育の充実が課題です。学校ICT\*環境が整備され、時代に合った情報化教育の進め方・運用の検討が必要です。
- 児童生徒を取り巻く環境は厳しく、「いじめ」や「不登校」「学級崩壊」などを未然に防ぐことが必要です。このため、学校や地域で相談できるようにして児童生徒の悩みを軽減することや、学校生活適応指導教室の充実が課題です。
- 児童生徒が安心して安全に学校生活を過ごすために学校、地域、PTA・家庭が連携した児童生徒の安全確保や教育活動の充実が課題です。
- 障がいのある子どもの就学先については、関係機関と連携して就学相談を充実することが課題です。
- 学校施設面では、耐震化を完了しましたが、環境にやさしい学校づくりが必要です。また、少子化が一層進むことが予想され、学校規模の適正化の方針を明らかにすることが課題です。
- 給食業務の効率的な運営と内容の充実を図るために、その運営のあり方の検討や、健全な心身を培い、豊かな人間性を育むため食育\*を推進することと、給食センターを食育の拠点として有効活用することが課題です。

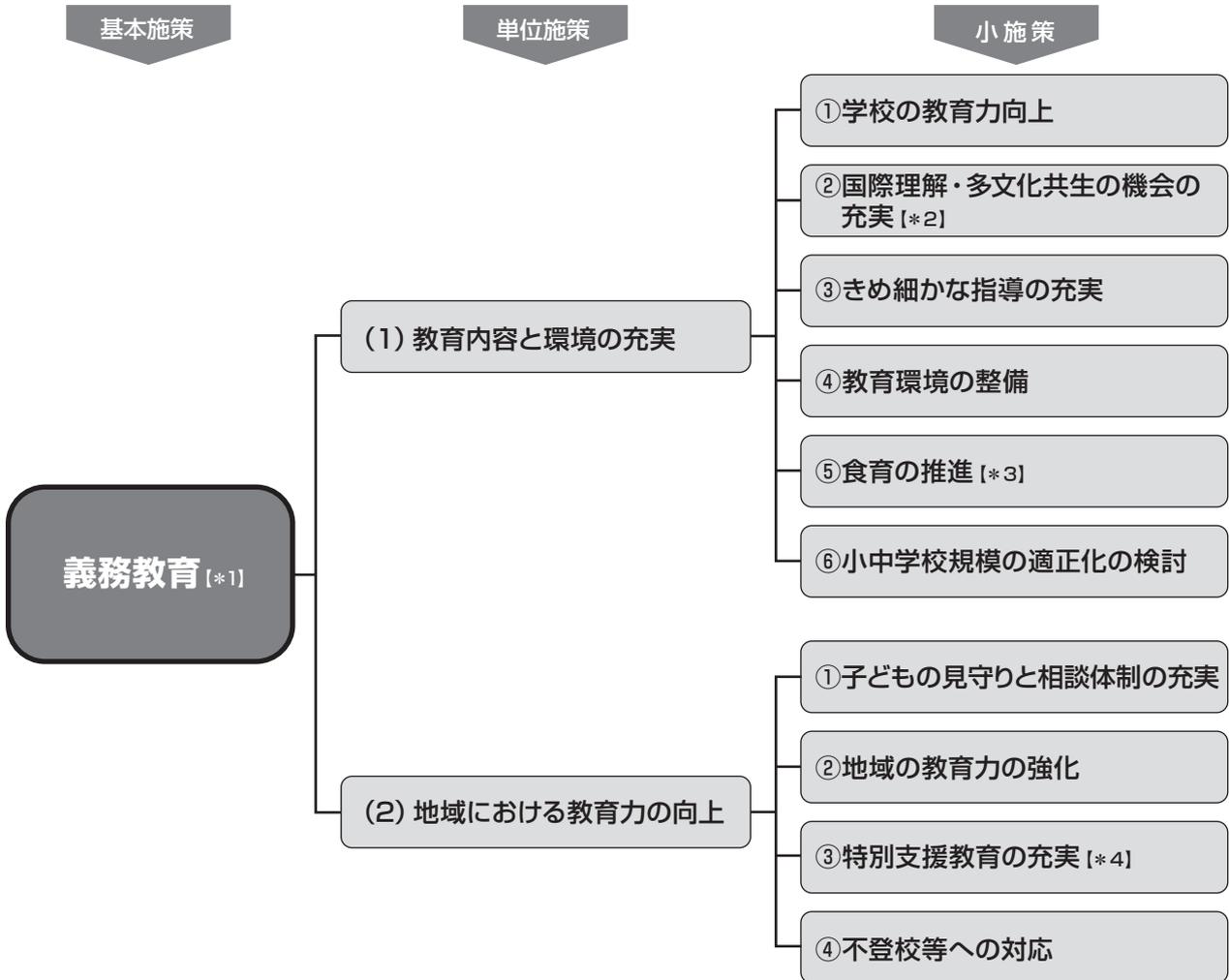
施策がめざす蟹江町の将来の姿

- 児童生徒みんなが安心して楽しく学校生活を過ごしています。
- 児童生徒が国際化や情報化に対応した資質を高めています。
- 学校の教育力が高まるとともに、地域においても子どもの見守りや教育に取り組んでいます。

目標値 

基本成果指標	現状値	目標値	
	2008(平成20)年度	2015(平成27)年度	2020(平成32)年度
学校教育や地域の教育環境の満足度 【蟹江町住民意識調査(H20.10)】	36.5%	—	41.5%
学校の普通教室のエアコン普及率 【教育課調べ(H22)】	25.0%	46.0%	63.0%
毎日朝ごはんを食べている児童生徒 【児童生徒の食生活についての調査(H22)】	86.0%	90.0%	95.0%

## 施策の体系



\* 1:【関連施策】1-2-3 幼児教育<P50>

\* 2:【関連施策】5-2-2 多文化共生

\* 3:【関連施策】4-3-1 農業の振興

\* 4:【関連施策】1-3-2 障がい者(児)福祉

\* 4:【関連施策】1-3-3 地域福祉

(2) 国際理解・交流の推進<P147>

(2) ①環境に配慮した安全な食の生産<P127>

(4) ①障がいに対する理解促進<P57>

(2) 地域福祉意識の高揚と地域福祉活動の推進<P59>

## 施策内容

### (1) 教育内容と環境の充実

#### ①学校の教育力向上

教育内容の質を高めるため、教員の研修を充実するとともに、教育の適正な評価を進めて、学校が教員の良き研さんの場となるしくみを充実します。

また、情報機器の充実や教える人材を確保して、情報化教育を充実します。

#### ②国際理解・多文化共生の機会の充実

中学校にネイティブスピーカーの講師を配置するとともに、生徒などが地域の国際化や多文化共生を学ぶ機会を充実します。また、町内の海外駐在経験者や外国人在住者の協力を得て、大人も一緒に学ぶ機会などを提供します。

……☆協働モデル事業実施

③きめ細かな指導の充実

児童生徒がたくましく健やかに学校生活を過ごすことができるように、きめ細かな指導ができる教育の体制を充実させます。また、障がい児の教育や外国人の児童生徒の指導をボランティアの協力も得ながら充実させます。

④教育環境の整備

快適な教育環境を持ち健康や環境面も配慮した施設・設備の充実を図ります。

⑤食育の推進

安心・安全な学校給食を提供するとともに、給食業務の効率的な運営と内容の充実を図るために、その運営のあり方を検討します。

また、児童生徒の健康な心身の発達のため、庁内他部署や関係団体と連携して、地産地消\*もめざしながら、食育を推進します。

⑥小中学校規模の適正化の検討

今後の少子高齢化の動向を踏まえながら、小中学校の規模の適正化についての方針を検討します。

(2) 地域における教育力の向上

①子どもの見守りと相談体制の充実

児童生徒の通学などを地域が積極的に見守ります。また、挨拶運動の推進や、学校のみならず地域全体が子どもに接して相談に応じることができるように促します。

②地域の教育力の強化

地域やボランティアが学校における総合的学習時間、就学前の相談に協力するとともに、地域において日常的に児童生徒を教えることができる取り組みを促します。

③特別支援教育の充実

障がいのある児童生徒一人ひとりに応じた教育を進めるため、保健・医療・福祉関係機関との連携を図りながら、特別支援教育の充実に努めます。

④不登校等への対応

学校生活に適応するための指導施設「あいりす」において、不登校児童生徒が学校生活に適応し復帰できるよう指導を行います。

主要事業

事業名	事業概要
教育振興管理事業	副読本配布、部活動への奨励費交付、扶助費の支給などを行う。
国際理解教育講師・英語指導助手派遣事業	外国人指導助手を通して外国文化に触れ、国際社会に対応できる生徒を育成するため、外国人指導助手を配置する。
学校生活適応指導教室	不登校児が集団生活になじめるように学校復帰を目的とした指導を行う。

【教育課】【給食センター】【政策推進課】

## 現状と課題

- 高齢社会・成熟社会のなかでは、一人ひとりが生涯にわたって、それぞれの意欲に応じて学ぶことができる環境づくりと、町民が主体的にまちづくりに取り組みながら学ぶことが重要です。
- このため、町民に生涯学習やまちづくりに参加するよう啓発するとともに、町主催の講座などの学習機会についてPRをしていくことが重要です。
- 多様化する町民や社会のニーズ、高齢社会に即した講座を開催したり、町民が主体となった活動について検討するためには、企画体制の充実が課題です。
- また、町民が生涯学習活動に参加しながら、大人も子どもも一緒に文化継承や魅力ある地域づくりに参画させる必要があります。
- 文化協会の自主的・自立的な運営を促すことや、町民の文化活動の活性化を図ることが課題です。
- 生涯学習施設は、中央公民館、中央公民館分館をはじめとして、施設・設備の老朽化が進み、必要に応じ改修を行ってきました。
- 今後は、厳しい財政事情のなかで施設整備のあり方を十分に検討することが課題です。また、地域公民館（集会所、コミュニティセンター等）整備のニーズにも対応する必要があります。
- 歴史民俗資料館の施設の老朽化や、収蔵庫の不足などが問題となっています。
- 須成祭などの伝統文化や文化財を保護し、町民への理解を深めるよう努力することが必要です。

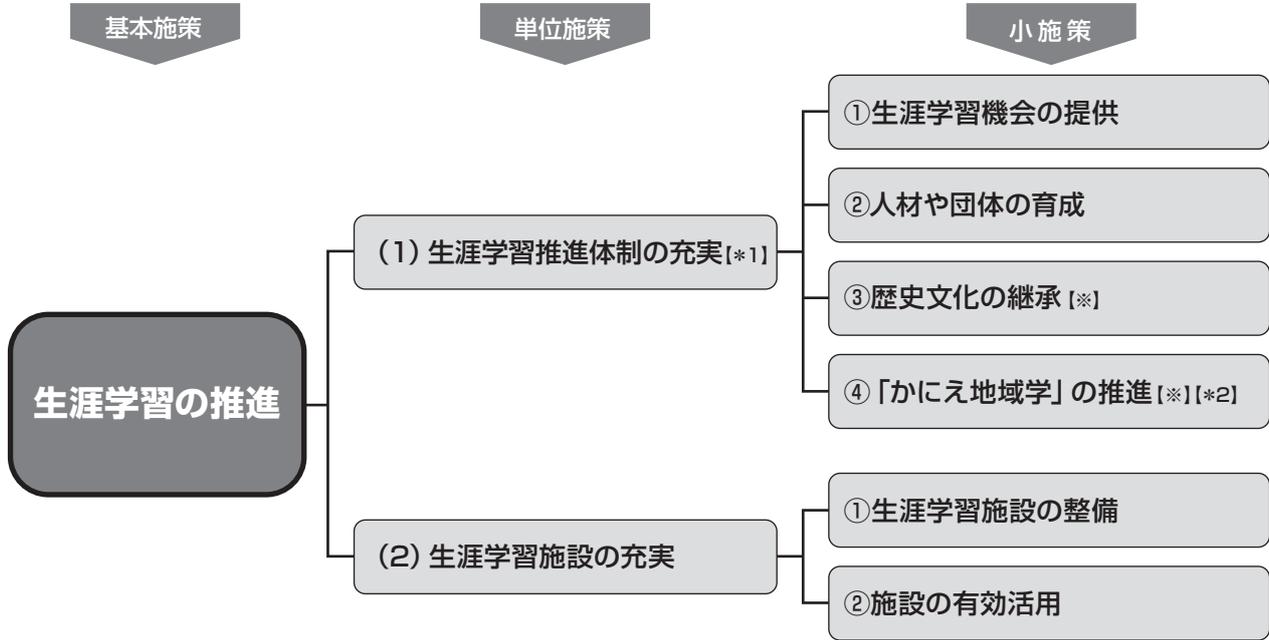
## 施策がめざす蟹江町の将来の姿

- 誰もが主体的に楽しく、生涯にわたり学習活動に参加しています。
- 生涯学習や文化振興に取り組む自主的な活動が活発に行われています。
- 歴史文化を始めとする地域資源が生涯学習の材料として十分に活用され、町民の郷土意識が高まっています。

### 目標値

基本成果指標	現状値	目標値	
	2009(平成21)年度	2015(平成27)年度	2020(平成32)年度
生涯学習のプログラムや施設の満足度 【蟹江町住民意識調査(H20.10)】	21.5%	—	26.5%

## 施策の体系



※：【重点施策】

\* 1：【関連施策】 1-3-1 高齢者福祉

\* 1：【関連施策】 1-3-2 障がい者(児)福祉

\* 2：【関連施策】 4-3-4 観光の振興

(1) 社会参加・生きがいづくりの推進<P53>

(4) 社会参加と自立支援<P56>

(1) 観光資源の掘り起こし<P133>

## 施策内容

### (1) 生涯学習推進体制の充実

#### ①生涯学習機会の提供

成人教育、家庭教育を始めとした各種の生涯学習講座・教室を町民ニーズに即した内容で開催するとともに、その生涯学習にかかる情報提供を充実します。

本町の歴史文化や水郷再生などのまちづくりへの参画や、ボランティア活動などへの参加を子どもも含めて啓発します。

#### ②人材や団体の育成

文化協会や自主グループなどの団体の運営の自立性を高めて活動の活性化を促すとともに、指導者の確保育成、活動の場の確保など、サークル活動を支援します。

#### ③歴史文化の継承

歴史民俗資料館の改修を行うとともに、収蔵品を充実させ、幅広く公開します。また、専門的な調査・研究を踏まえたうえで、企画展示や歴史文

化を学ぶ講座を住民参加を得ながら開催し、町民が歴史文化にふれる機会を充実します。さらに、須成祭など地域の祭りを含めた本町の伝統文化の継承を支援し、文化財の保護を図ります。

また、本町に縁がある偉人についてその業績を掘り起こし、町民が学ぶ機会を提供します。

……※重点施策

#### ④「かにえ地域学」の推進

地域の歴史文化や自然、産業などの地域資源に光をあて、生涯学習や教育に活かします。小中学校と連携して、子どもを対象とした講座を行い、地域への理解を深めます。また、ガイドボランティアなど地域活動への参加を促して、地域資源を継承する人材を育成するなど、「かにえ地域学」にかかわる取り組みを充実します。

……※重点施策・☆協働の取り組み

## (2) 生涯学習施設の充実

### ①生涯学習施設の整備

中央公民館、中央公民館分館をはじめとした生涯学習施設の改修等を行い、整備をします。

### ②施設の有効活用

町民が生涯学習施設を積極的に利用できるような情報提供を行うとともに、身近な既存の施設を生涯学習の場として活用できるようにします。また、地域公民館（集会所、コミュニティセンター等）の整備を支援します。

## 主要事業

事業名	事業概要
生涯学習推進事業	各種生涯学習事業、生涯学習まちづくり推進町民大会、創年式、文化祭などを実施する。
歴史民俗教育普及事業	各種文化財歴史民俗講座、ガイドボランティア養成講座を実施する。
企画・特別展展示活動事業	企画展、特別展を実施する。
文化財保護事業	文化財保護等事業費補助事業、文化財調査・記録作成、文化財の公開などを実施する。
生涯学習施設管理管理事業	歴史民俗資料館、中央公民館、中央公民館分館の管理を行う。
各種団体補助事業	文化協会、婦人会などへの補助を行う。

【生涯学習課】



## 現状と課題

- 図書館は、町民が読書に親しむとともに、歴史や地域文化を伝える場として、また情報を収集し提供するといった町民の生涯学習の場としても、とても重要な施設です。
- また、図書館は本町を代表する佐屋川創郷公園の中に位置し、町民に親しまれています。
- これまで、図書の貸出しだけではなく、読み聞かせの実施や、講座・映画会・展示会などの開催、町民からの資料相談への対応など、様々な取り組みを進めてきました。情報化社会の進展や、子どもの本離れなどが進む傾向にあるなかで、町民が図書館をより身近に感じ、子どもから高齢者までが、気軽に立ち寄ることができる親しみのある施設にすることが課題です。
- 図書館の運営については、厳しい財政事情のなかで、図書館資料の購入費用等の確保が厳しいため、長期的な展望のもとで資料を充実させる必要があります。また、従来のインターネットの活用に加え、将来的にはインターネットを利用した多様な方法で最新情報を提供できる環境を整える必要があります。
- 施設面では、建設からすでに10年以上が経過しており、施設や設備を継続的に整備していく必要があります。また、将来的には図書館機器や図書館システムの見直しを行い、質の高いサービスを提供することが課題です。

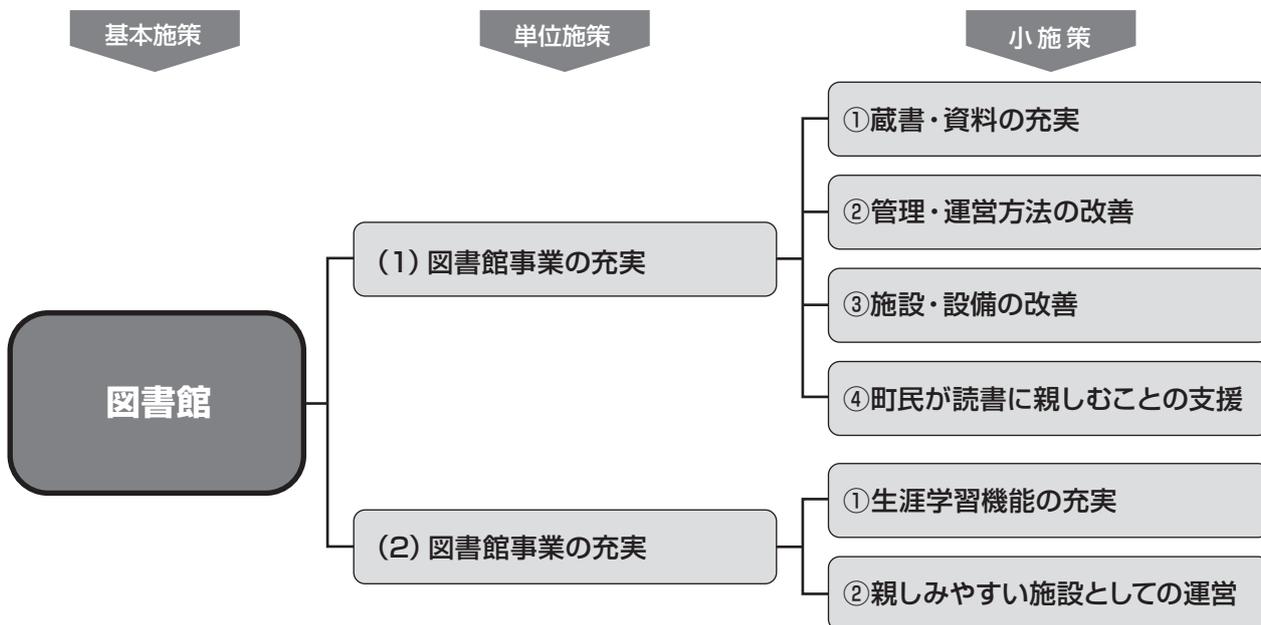
## 施策がめざす蟹江町の将来の姿

- 町民が図書館を気軽に訪れ、子どもから高齢者まで読書に親しんでいます。
- 町民は図書館で常に最新の情報を得ることができ、最良の生涯学習の場として利用しています。

目標値 

基本成果指標	現状値	目標値	
	2009(平成21)年度	2015(平成27)年度	2020(平成32)年度
図書館の資料数 【図書館調べ(H22)】	131,057点	144,000点	157,000点
図書館の来館者数 【同上(H22)】	189,799人	209,000人	228,000人
図書館資料の貸出点数 【同上(H22)】	316,970点	349,000点	380,000点

## 施策の体系



## 施策内容

### (1) 図書館事業の充実

#### ①蔵書・資料の充実

利用者のニーズを把握し、本町の歴史文化の継承も考慮しながら、図書館資料の充実を図ります。

#### ②管理・運営方法の改善

町民が利用しやすく魅力のある図書館をめざして、管理運営方法の改善を検討します。

#### ③施設・設備の改善

施設や図書館機器・図書館システムなどの設備を改善し、誰もが利用しやすい図書館をめざします。

#### ④町民が読書に親しむことの支援

講座や各種イベントの開催、ボランティアの協力を得て読み聞かせを行うなど、町民が読書に親

しむ機会を提供します。また、子ども読書活動推進計画を策定し、子どもの読書環境を整備・充実させ、読書活動の推進を図ります。

### (2) 図書館事業の充実

#### ①生涯学習機能の充実

広域の公共図書館等との相互のネットワークを強化することで多くの情報を共有することや、町民が利用できる検索用機器を増やすなど、情報ネットワーク環境をさらに充実して、生涯学習機能や、情報相談および情報提供機能の強化を図ります。

#### ②親しみやすい施設としての運営

町の施設として、親しみやすい図書館の演出を図ります。

## 主要事業

事業名	事業概要
コンピュータの活用による情報提供	従来の図書や雑誌などによる情報提供だけではなく、インターネットの利用や電子情報を提供できるように整備する。
子ども読書活動推進計画の策定	関係部署と協力し、子ども読書活動推進計画を策定する。
図書館業務の合理化	自動貸出機・自動返却機などを設置するなど図書館機器の見直しやシステムの改善により事務を合理化し、利用者へのサービスの向上を図る。
図書館活動についてのPR	利用者にとって身近で親しみやすい図書館をめざすため、図書館についてのPRを積極的に行う。

## 現状と課題

- 次代の蟹江町を担っていく青少年が心身ともに健やかに育つ環境をつくることは重要な課題です。社会の先行きが不透明で、家族関係や地域の交流が希薄化しているなかで、青少年がかかわる犯罪の増加が予想されます。
- このため、青少年が希望を持ち、いきいきとすごせるように、地域ぐるみで青少年の健全育成運動を続けることや相談に乗ること、青少年が自己表現をしたり、自然環境に親しむ機会を充実させる必要があります。
- 次世代育成支援とともに家庭や地域の教育力を再生することや、地域・家庭・学校が連携した取り組みを強化していくことが求められています。

## 施策がめざす蟹江町の将来の姿

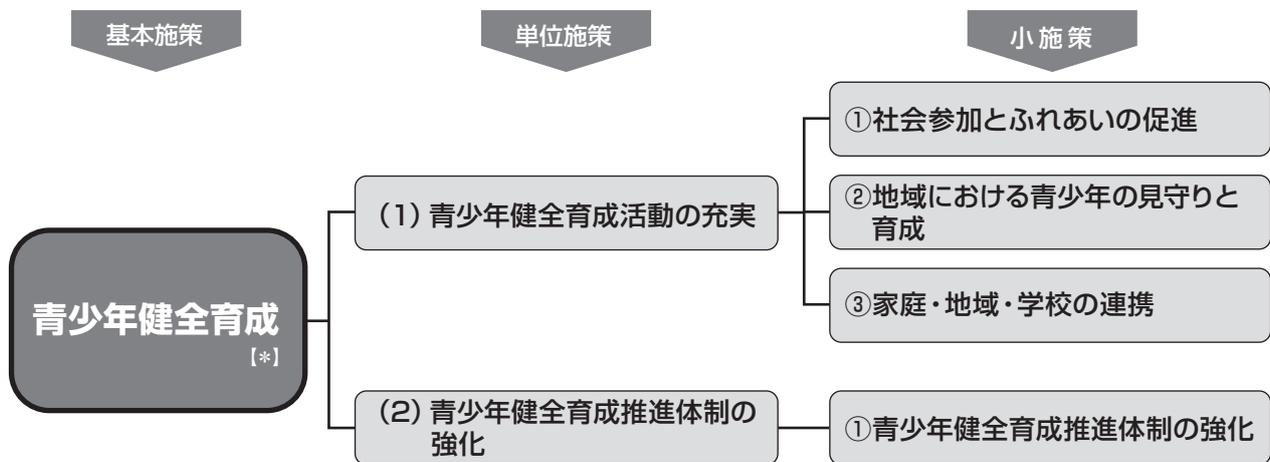
- 青少年が希望を持って、明るく健やかに育ち、社会や地域で活躍しています。

目標値 

基本成果指標	現状値	目標値	
	2009(平成21)年度	2015(平成27)年度	2020(平成32)年度
青少年を取り巻く環境に関する満足度 【蟹江町住民意識調査(H20.10)】	12.3%	—	17.3%



## 施策の体系



\*:【関連施策】3-3-3 防犯 (1) 地域の防犯力の向上<P105>

## 施策内容

### (1) 青少年健全育成活動の充実

#### ①社会参加とふれあいの促進

青少年が自ら成長することができるように、ボランティアやまちづくりに参加する機会や、自然に親しむ機会を提供します。

#### ②地域における青少年の見守りと育成

青少年が非行や犯罪を犯したり、巻き込まれることがないように、地域の見守り活動などを充実するとともに、青少年の地域活動への参加を促します。

#### ③家庭・地域・学校の連携

家庭・地域・学校が連携して、地域全体の教育力を高めるとともに、相談や問題解決に取り組みます。

### (2) 青少年健全育成推進体制の強化

#### ①青少年健全育成推進体制の強化

青少年健全育成推進会議を中心とした啓発活動を充実するとともに、幅広い町民が参加して活動の活性化を図ります。

## 主要事業

事業名	事業概要
青少年育成推進事業	各種青少年講座、成人式、青少年健全育成運動などを実施する。
家庭教育推進事業	各種親子講座を実施する。

【生涯学習課】

## 現状と課題

- 少子・高齢化が進むなかで、健康づくりへの関心が高まり、スポーツや運動へのニーズが高まっています。しかし、健康づくりの柱である運動は町民の意識の中にも定着しつつありますが、実際に行動につながる人の割合はまだまだです。
- 誰もが気軽に、ライフスタイル\*に応じてスポーツに参加することができ、地域における世代間の交流も盛んにすることが重要です。
- こうしたなかで、行政においては、町民がスポーツにいそしむための機会や場所を充実することが課題です。
- スポーツに関する事業としては、大会や教室がありますが、事業の魅力を高めるとともに、より参加しやすくすることが必要です。健康づくりのために、誰でも気軽に親しめるスポーツの普及も課題です。
- また、町は体育協会とその加盟団体などの活動を支援してきました。これらのスポーツ関係団体の活性化と、より多くの町民がスポーツに親しむことを目的として設立した総合型地域スポーツクラブ\*を軌道に乗せていくことが必要です。
- 施設面では、本町には体育館、グラウンド、テニスコート、ゲートボール場、小中学校体育館などがあります。これらの施設を利用したいというニーズは年々増加し、十分に活用されていますが、施設をより利用しやすくするために、蟹江町体育館、体育館分館などを改修することが課題です。

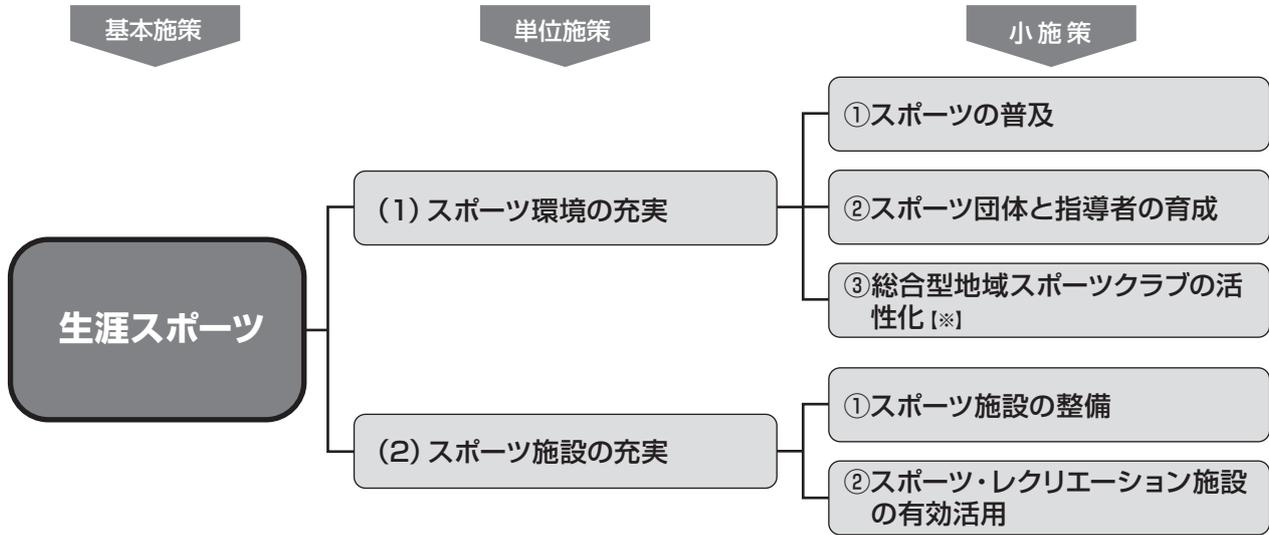
## 施策がめざす蟹江町の将来の姿

- 町民がスポーツ大会、イベントやスポーツ団体に参加して、健康づくりや競技に取り組んでいます。
- 総合型地域スポーツクラブに多くの町民が参加しています。
- スポーツ施設が改修されて、町民が快適に利用しています。

目標値 

基本成果指標	現状値	目標値	
	2009(平成21)年度	2015(平成27)年度	2020(平成32)年度
スポーツ活動やスポーツ施設に関する満足度 【蟹江町住民意識調査(H20.10)】	58.4%	—	63.4%

## 施策の体系



※：【重点施策】

## 施策内容

### (1) スポーツ環境の充実

#### ① スポーツの普及

生涯スポーツや社会体育事業の魅力を高めるとともに、参加者の負担を見直してより参加しやすくします。町民が生涯健康に過ごすことができるように、誰もが親しみやすいニュースポーツの普及を図ります。

#### ② スポーツ団体と指導者の育成

体育協会とその加盟団体、スポーツ少年団など、スポーツ関係団体の自主的な運営と活動の活性化を促します。

#### ③ 総合型地域スポーツクラブの活性化

総合型地域スポーツクラブの会員相互の活性化・連携強化や、クラブ独自の財源による自主的な運営

をめざします。また、多世代交流や健康づくり、仲間づくりのために、総合型地域スポーツクラブへの子どもや町民の参加を促すとともに、指導者の確保など、みんなでクラブを支えます。

……※重点施策・☆協働の取り組み

### (2) スポーツ施設の充実

#### ① スポーツ施設の整備

蟹江町体育館、体育館分館などの総合型地域スポーツクラブなど生涯スポーツの拠点となる体育施設の整備を、改修の優先順位を明確にしながら、着実に進めます。

#### ② スポーツ・レクリエーション施設の有効活用

各小学校の体育館やグラウンドなどをスポーツやレクリエーションの場として、有効に活用します。

## 主要事業

事業名	事業概要
社会体育事業	各種生涯スポーツ教室・大会を実施する。
体育施設管理事業	体育館、体育館分館、佐屋川グラウンド、ゲートボール場の管理を行う。
学校体育施設開放事業	蟹江小学校、舟入小学校、須西小学校、新蟹江小学校、学戸小学校、蟹江中学校、蟹江北中学校の各体育館・グラウンドを開放する。
町民プール借上開放事業	民間のプールを町民プールとして活用する。
各種団体補助事業	体育協会、スポーツ少年団、総合型スポーツクラブへ補助を行う。

【生涯学習課】【健康推進課】

